

## 会議結果報告書

会議名称	臨時政策会議	
日 時	令和7年10月23日(木) 午後2時～午後3時	
場 所	本庁舎3階3A会議室	
出席者	出 席	市長、石原副市長、高橋副市長、教育長、政策部長、総務部長、都市部長
	事務局	総合政策課長、課長代理(政策調整担当)、担当、秘書課長

### 議題：秦野市火災予防条例の一部を改正することについて

担当部課等	予防課
説明者	消防長、予防課長、課長代理(予防危険物担当)
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり
会議経過 (説明・意見等)	<p><b>【説明】</b> 資料に基づいて説明。</p> <p><b>【質疑及び意見等】</b></p> <p>問. 林野火災については、今後公布予定の省令に関わらず、すでに示されているのか。</p> <p>答. 8月29日に火災予防条例(例)の一部改正が行われている。</p> <p>問. 他県では、簡易サウナの事例は多くなっていると思うが、これまで市内において、事故はあるか。</p> <p>答. 市内での事故については、聞いていない。ストーブの場合、木材など、可燃性の物が近くにあると、引火する危険性があるため、あらかじめ予防しておくことが必要である。</p> <p>問. サウナ設備について、これまで基準が無かったのか。</p> <p>答. 現行の火災予防条例では、建物内のサウナ設備の基準はあったが、今回は、狭い空間での安全について規定するものとなっており、現行基準ではそぐわない可能性があるため、改正するもの。</p> <p>問. 市内において、屋外で設置している事例はあるか。</p> <p>答. 市内には、滝沢園、ボスコの2か所のキャンプ場がある。滝沢園は、設置及び今後の予定もなく、ボスコについては、設置を予定しているということで、事前に連絡をいただくよう調整している。</p> <p>問. 林野火災予防の警報は、丹沢大山エリアに関係するため、隣自治体にも影響すると思うが、他市町村と事前にすり合わせしているか。</p>

	<p>答. 発令基準等を意見交換の上、すり合わせしている。</p> <p>問. 注意報については、どのように周知するのか。</p> <p>答. 緊急情報メール、市の公式ライン、消防車による広報を考えている。また、警報になった場合は、防災行政無線を利用する。</p> <p>問. 登山者には、緊急メールが届きづらいのではないか。</p> <p>答. ホームページでの掲載、登山者カードポストの活用、山小屋での周知、神奈中の中吊り広告等を考えている。</p> <p>問. 届出について、従来からの変更点はあるか。</p> <p>答. 従来から届出の対象としていたため、変わらない。</p> <p>問. 火の使用の制限に関する規定は、具体的にどういうものか。</p> <p>答. 火入れをしないことなど、火の使用を制限するもの。</p> <p>問. 罰則規定はあるか。</p> <p>答. 注意報は、努力義務のため罰則規定は無い。警報は、条例での規定は無いが、消防法第22条の規定違反で罰則が定められているため、消防法の規定を準用する。</p>
会議結果	原案了承

議題：妊婦健康診査及び乳幼児健康診査の拡充について	
担当部課等	こども家庭支援課
説明者	こども健康部長、こども家庭支援課長、こども家庭支援課（親子健康担）
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり
会議経過 (説明・意見等)	<p><b>【説明】</b> 資料に基づいて説明。</p> <p><b>【質疑及び意見等】</b></p> <p>問. 資料で示されている近隣の医療機関の金額は、14回分の健診費用で、メニューにより1回ずつの値段は違うが、過不足について、どのように対応していくのか。</p> <p>答. 医療機関によって金額が異なるので、基本額を定めた上で、差額がある場合は補助券を追加発行して、差額を埋めることを検討している。</p> <p>問. 全ての検査終了後に、トータルで支給できないのか。</p> <p>答. 産婦人科医会が補助券を導入しているため、これまで通り産婦人科医会との契約の中で実施していく。県内のほとんどどの市町村が同様の対応となる。</p> <p>問. 妊婦健診委託に関する覚書とは、何を定めるものか。</p> <p>答. 金額や手続きの仕方等を定めている。</p>

	<p>問. 11万1千円以上の費用が発生した場合は自己負担か。</p> <p>答. 自己負担となる。また、上限額までかからない場合もある。</p> <p>問. 分娩取扱い数の割合で、30%程度は里帰り出産か。</p> <p>答. 里帰り出産や個人的な理由、また、緊急的な出産として東海大学病院で取り扱った出産等の件数となる。</p> <p>問. 市民がどこの医療機関で出産しているか、現状把握できるのか。</p> <p>答. 出生届で、把握できている。</p> <p>問. 屈折検査について、市内乳幼児の弱視の割合はわかるのか。</p> <p>問. 約20%と認識しているが、数字を把握するようにする。</p> <p>意見. 弱視について、センシティブな親もいるので、フォローアップを検討すること。</p> <p>問. 妊婦健診について、受診券方式に変えることで、健康管理の充実が図られるとあるが、どういうことか。</p> <p>答. 妊婦健診を実施したことがわかるようになるので、その情報を利用し、妊婦訪問などにつなげていくということ。</p> <p>問. 今まで全てのこどもを対象とした屈折検査を行っていないが、弱視が見過ごされたこどもはどうなるのか。</p> <p>答. 小学校入学前の就学時健診で把握できる。教育委員会にも相談しながら進めていく。</p>
会議結果	原案了承